



表1 ○○○○○○○○○○○○○○○

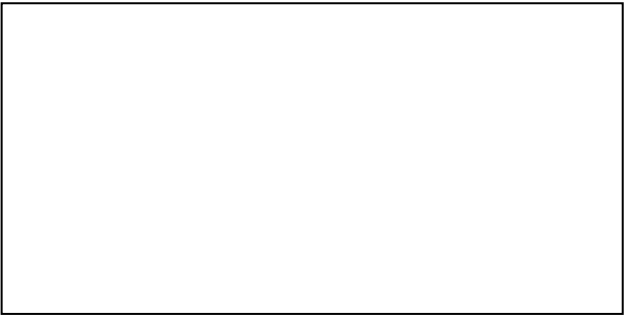



図1 ○○○○○○○○○○○○○○○



写真1 ○○○○○○○○○○○○○○○

参考文献（英語論文の場合：REFERENCES）

- 1) 参考文献表題は 9pt, 和文はMS ゴシック, 英文はArial, 本文と参考文献表題の間は1行空けてください。
- 2) 参考文献は9pt, 和文はMS 明朝, 英文はCentury (または Times New Roman), 行間9pt, 複数行は1字下げてください。番号は片カッコ付きで数字は半角にしてください。
- (1) 注および参考文献は, 本文の後にそれぞれを使用順に番号を付け, まとめて掲載してください。
- (2) 注および参考文献の番号は, 本文中の引用箇所には肩付き文字<sup>注1)</sup>のように明記してください。
- (3) 参考文献の記載方法は以下の通りとします。
  - a. 論文等の場合「著者名：表題, 誌名, Vol, No. , 掲載ページ, 発行年月」の順とする。区切りのカンマ (,) は半角としその後半角スペースを入れる。
  - b. 単行本の場合「著(編)者名：書名, 発行所名, 発行年」の順とする。
  - c. 著者名は必ず姓で記す。著者が多い場合には, 筆頭者以外は「ほか○名」で省略することもできる。
  - d. 欧文の場合には, 筆頭者は姓を先に記す。また, 連名者は「et al.」で省略することもできる。
  - e. 発行年月日は, 原則として西暦で「1995.1」「1995.2」のように記す。

- (4) 一般に公表されていない文献, たとえば未発表の論文, 簡易印刷 (コピーしたものなど) の委員会報告や社内報告および私信などは, 文献として扱わない。必要とあれば注とし, 引用箇所には肩付き文字<sup>注1)</sup>, <sup>注2)</sup>のように明記する。
- (5) 図・表・写真などの引用・転載にあたっては, 著者自身が原著者などの著作権所有者の許可をとらなければならない。
- (6) 記載例

参考文献

- 1) 佐藤武夫, 川島定雄, 三木 韶:音響透過に関する実験 (第3報) 材料に対する音の投射角と遮音効果, 建築学会論文集大会号, 第1号, pp.210~217, 1936.3
- 2) 中村達太郎:日本建築語彙 丸善 1906, 新增補版 1956
- 3) Luco,J.E. and Westmann,R.A.:Dynamic Response of Circular Footings, Journal of the Engineering Mechanics, ASCE, Vol.97, pp.1381-1395, 1971.4

注（英語論文の場合：NOTES）

注1)注表題は 9pt MS ゴシック(英文はArial) 上1行アキ  
 注2)注の文字の大きさは 9pt MS 明朝(英文はCentury (または Times New Roman)) 行間 9pt 複数行は1字下げてください。番号は片カッコ付きで数字は半角にしてください。

7. 英文要約または和文要約について

本文が和文の場合には英文要約 (600 単語以内), 本文が英文の場合には和文要約 (3,000 字以内) を論文の末尾に付ける。要約中には図表を挿入せず, 本文図表の参照引用にとどめる。

TITLE

Sub title

Name 1 <sup>\*1</sup>

Name 2 <sup>\*2</sup>

Name 3 <sup>\*3</sup>

Summary

---

<sup>\*1</sup> Professor, Dept. of Architecture, Faculty of Engineering, ○○ University, Dr.Eng.

<sup>\*2</sup> Graduate Student, Dept. of Architecture, Faculty of Engineering, ○○ University, B.Eng.

<sup>\*3</sup> □□ Co., Ltd., Dr. Sc.